

具 体 内 容	①社会見学や体験学習の充実等、経験や興味・関心を広げ、深めるための取組の推進
	②自己理解(課題や強みなど)の促進等、人との関わりや社会参加の基盤となる取組の推進
	③海洋等の自然、郷土芸能などの文化学習の充実等、地域への愛情と理解を深めるための取組の推進
	④コミュニケーション力(基盤となる言語力、表現力、理解力)を身につけるための取組の推進
	⑤地域の課題を発見し、解決していく学習の充実等、課題解決を身に付けるための取組の推進
	⑥交流学習、地域の大人との交流の充実等、社会性を高め 理解啓発を進めるための取組の推進
	⑦メディアを組み合わせた広くわかりやすい情報発信
	⑧障壁地域の特別支援教育のセンター的役割の推進

A 十分に達成できている
B おおむね達成できている
C どちらかといえば達成できていない状況
D ほとんど達成できていない状況

[illegible]

教職員評価											学校関係者評価						
学部分等	具体的内容	重点目標	手立て	評価指標(成果・取組指標)	評価者	達成状況	アンケート評価 高々低、わからない					目標や評価に関する 意見・要望	4段階 評価	評価・改善策等	4段階 評価	評価・意見	
							1	2	3	4	5						
研修相談	④	一人一研究に取り組み、教育実践の質の向上を図る。	・教員間での意見交換、授業を見合う機会を設け、一人一研究の取り組みを支える環境作りをする。	・研究の日(月1回)、よらあや授業公開(年間各1回)、よらあや報告会(中間、年度末)に取り組むことができたか。	全員	□研究の日の定期開催・9回実施 ※学部を超え相談できる環境づくり □よらあや公開授業・チャット周知 一人一授業公開実施 ※先生方の専門性向上機会提供 □中間発表会、予定通り実施 12月実践報告会予定 ※テーマ別を超え情報共有・協議できる機会の提供	48%	48%	4%		・お互いの授業を見合い、話し合いの機会を設けることで相談しやすい環境づくりができていたと思います。 ・公開授業をした後、その授業について話し合う時間があるなどよい。少なくとも参観した教員は感想なりを授業者へ送ることを徹底するアナウンスをお願いしたい。見て終わりとはいえない。 ・研究の日の計画的に設定しており、グループでスムーズに話し合いをすることができた。 ・学部を超えた相談では自分とは違った視点で意見をいただくことができた。前提として児童生徒の普段の実態を把握していないとできないと感じる。 ・グループ内で一つ一つの熟議できたかはわからないが、教員の負担面は軽かったと思う。ただ、他の先生方の考え方や技術などを多く見れて参考になった。 ・一人一研究の取り組みで授業公開すること、月1回の研究の日を設けていたこと等、いろいろな先生方の意見や考えについて参考にはなったが、深まる研究に結びつけたかは少し疑問に思う。 ・特別支援教育研修会の開催は良いが、予め先生方からアンケートをとって内容について決めると良いのでは。 ・研修会(県知研での内容発表等)等、教員が学ぶ機会がもう少しあるといいと思いました。 ・特に来年度以降に向けて、校内研究＝授業づくりという視点から考えると、教務と連携するとなりが、よりよい授業づくりに向けて取り組んでいけたらと思う。 ・校内の子どもを専門の先生に見てもらった時の内容や研修にいられた先生の報告等、みんなの学びとなるような情報共有をしっかりできるとよいと思う。	B	・校内研究について、教務部とも連携を図りながら進めていく。また、授業公開、公開後の振り返りについて周知徹底し、研究の深まりにつなげていく。 ・校外研修会等で得た学ぶについて、全体で共有できるような報告の場を設定したり、資料を一定期間閲覧できるような場を設けたりする。 ・アンケートを実施するなどして、校内のニーズに合った研修会を企画する。	B	・一人一研究の取り組みは素晴らしいと思います。継続的にweb上で閲覧出来たら、保護者さんや地域の方もこの先生はこんなことをやっているんだあと聞かす持ってくるかも知れません。 ・教員のスキルアップにも大事な取り組みであり、継続をお願いします。 ・校内研究という取り組みがあるのを、こちらで初めて知ったので、ぜひ、こちらSNSで発信されるいいなと思いました。 ・先生たちのご意見として挙がっている通り、先生たちのニーズに合わせて内容を決めることも良いと思いますし、一方で、それだけでは、自分たちの分かる範囲からしか学べないことがあるので、校内の悩みを外部に相談し、外部からも、「これを学んでみては？」というアドバイスをもらうなど、全体的・いろいろな分野から多角的に学べるようになったら良さそうです。		
			⑧	地域における特別支援教育のセンター的役割の充実に努める。	・関係機関と連携を取りながら、各町村、各保育所・各学校のニーズに応じた研修会の開催、相談活動に取り組む。 ・地域にある課題について学校全体で共有する。	・管内の保・小・中・高の巡回相談等を年2回以上、特別支援教育研修会の開催を年2回行うことができたか。 ・センター的機能報告会(校内向け年1回)を開催し、管内の課題を学校全体で共有することができたか。	全員	□巡回相談:約309回＋その他61(保183/小92－中24－高10－) ※一前年度比・早期からの相談支援の充実 □特別支援教育研修会2回実施＋特研授業公開 ※地域からの参加多数 □校内専門性向上の機会の提供 □センター的報告会の実施 ※校内周知、課題共有の一助。	44%	40%	8%	8%	・研修会があり、能力向上につながった。 ・巡回相談の回数は、ニーズの高さを意味していると思うが、長く勤務している小中学校の先生方の専門性向上すれば、巡回はアセスメントの前後くらいにコーディネーターの先生方の負担も軽減すると思う。 ・センター的機能報告会(校内向け年1回)を開催し、管内の課題を学校全体で共有することができたかについて、どのような成果が得られたのかを具体的に知りた。	B	・巡回相談ニーズの高まり＝現場の先生方の子ども理解、意識の高まりと捉えても、一方で現場の先生方の専門性の向上、増加する相談への対応という点については管内の課題でもあれば、各町村と協議を継続しながら地域の仕組みづくりについても検討していきたい。 ・センター的機能報告会については、福祉の地域の状況(子供たちの困り感の状況、特別支援教育の推進にかかる地域課題)を校内の先生方から知っていたら機会にするといい意味で継続していく。	A	・巡回相談ニーズの高まりに対応できていることは素晴らしいことだと思います。準備・対応などいろいろ大変なところもあるうちありますが、基本的な役割に対応できていると思います。 ・ニーズの高まりに応じてさらなる対応をお願いします。 ・こういった先生たちの取組についても、情報発信の中で発信しても良いのではと思います。
			生徒指導	④⑥	関係各所と協力し、児童生徒がもてる力を発揮できるような学校行事の計画実施を行う。	・行事、活動を地域と共同して取り組む。 ・児童生徒の主体性を引き出せるよう役割、責任を意図できるようにする。 ・前年度までの反省を生かし、現状を踏まえた、新しい試みにも挑戦していく。	・50回記念となる「なかよし大運動会」の開催に、事務局として参加校と連携し取り組んだか。 ・ほとんどの開催に地域、関係各所の参加を呼び掛け、協力のもとに実施できたか。 ・活動において児童生徒が輝く場面が見られたか。	全員	・「なかよし大運動会」に向けて、運営面では早い段階からプレス関係校と連携を取り合い、連携して取り組めた。チャットを活用して、お互いの進捗状況や情報共有を密に図っていると感じました。 「隠岐養護まつり」の開催には関係各所の参加・協力を得て実施することができた。当日は300人以上の来場者があり、児童生徒は音楽発表や販路拓宽活動に、主体的に生き生きと取り組む姿がたくさん見られた。実施後の校内のアンケートからは、児童生徒たちの良い姿がたくさんあったことに加え、応援メッセージもたくさんいただいた。	60%	40%			・限られた時間ではありましたが、子ども一人一人が練習をつまみ重なり、「できるようになった姿」を見ることができた運動会でした。 ・もう少し児童・生徒のアイデアを募るなどして、児童、生徒主体の学校行事の運営ができるように感じました。 ・早めに情報共有したり、関係部署に打診をしたりして、スムーズに進めることができた。 ・児童生徒みんなが輝いた行事であった。 ・運営面については、関係各所と連携し取り組めていた。報道関係の写真の取り扱いは、事前に確認するの良かった。各学部、工夫してまつりを盛り上げるようにしていたし、外部から沢山の応援メッセージが得られ、学校の取り組みが評価されたと感じる。 ・準備はとて大変ですが、児童生徒が自分の役割を果たしたり、集団の中での経験を広げたりする貴重な機会として、今後もこうした学校行事を大切にしていきたいと思っています。	A	・運動会については早期から関係各所と連携を取り合い、協力して準備できた。引き続き連携を密に反省をふかかし、51回開催に向けて準備したい。 ・まつりの開催に向けては他校、関係各所の協力を得ながら今年度の規模を維持できたことと考える。 ・来年度は執行部が組織されるので、執行部が学校行事等リーダー性を発揮できるよう支援していく。また、学校行事において、児童生徒一人一人が役割、責任をもって主体性を発揮できるような場を設定していく。	A
③④	施設・設備の適切な保全管理	・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は1週間以内に決定する。				・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は1週間以内に決定したか。	全員	・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、概ね1週間以内に決定できた。 ・緊急を要するものを除けば、令和予算の範囲内でのやりくりとなれば、児童生徒にとって最大限の益となるように工夫して予算活用していきたい。	72%	28%			・いつも迅速に対応いただいているので、大変助かっている。また臨機応変にも対応いただいている。 ・破損部分や不都合な箇所を、迅速な対応を行って頂けた。学校で普段使用する品において来年度予算予算で満足できるようにお願いいたします。	A	・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、概ね1週間以内に決定できたことと考えている。 ・令和予算に不都合な箇所を、迅速な対応を行って頂けた。学校で普段使用する品において来年度予算予算で満足できるように工夫して予算を活用していきたい。	A	・本校のニーズが高まり、地域に必要な学校と関係しています。時代に合った施設投資(大規模改修工事)が必要だと感じます。果との協議をお願いします。 ・目標に対しては進行できていると思いますが、やや受け身な感じでした。事前点検や定期的な更新計画を立てて事故や破損が起こる前に交換をする必要を感じました。 ・専門職不在の中、迅速な対応が出来ているところなので、引き続き果の教育委員会と連携しながら、然るべき対応を期待します。
事務部	③④		・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は1週間以内に決定する。	・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は1週間以内に決定したか。	全員	・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、概ね1週間以内に決定できた。 ・緊急を要するものを除けば、令和予算の範囲内でのやりくりとなれば、児童生徒にとって最大限の益となるように工夫して予算活用していきたい。	72%	28%			・いつも迅速に対応いただいているので、大変助かっている。また臨機応変にも対応いただいている。 ・破損部分や不都合な箇所を、迅速な対応を行って頂けた。学校で普段使用する品において来年度予算予算で満足できるようにお願いいたします。	A	・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、概ね1週間以内に決定できたことと考えている。 ・令和予算に不都合な箇所を、迅速な対応を行って頂けた。学校で普段使用する品において来年度予算予算で満足できるように工夫して予算を活用していきたい。	A	・本校のニーズが高まり、地域に必要な学校と関係しています。時代に合った施設投資(大規模改修工事)が必要だと感じます。果との協議をお願いします。 ・目標に対しては進行できていると思いますが、やや受け身な感じでした。事前点検や定期的な更新計画を立てて事故や破損が起こる前に交換をする必要を感じました。 ・専門職不在の中、迅速な対応が出来ているところなので、引き続き果の教育委員会と連携しながら、然るべき対応を期待します。		

令和6年度 隠岐養護学校 児童生徒用アンケート集計結果

		おほ そう 思う (ある)	どちらか い 言え ば おほ そう 思う	あまり おほ 思わ ない	おほ 思わ ない (ない)	わからない
学校行事・授業	1 先生は、授業中わかりやすく教えてくれましたか。	82%	18%			
	2 できた、わかった、もっとやりたいと思った授業はありましたか。	50%	34%	16%		
	3 授業や学校行事は充実していましたか。	67%	33%			
	4 授業や学校行事にすすんで参加できましたか。	50%	34%	16%		
学校生活	5 学校(教室)は安心して過ごせましたか。	67%	25%		8%	
	6 先生は、学校のきまりや社会のルールをきちんと教えてくれましたか。	64%	27%			9%
	7 あなたは、学校のきまりなどをしっかり守りましたか。	34%	50%	8%		8%
	8 あなたは、すすんで挨拶をしたり、言葉づかいに気をつけたりしましたか。	31%	38%	23%	8%	
	9 あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩にいじわるをされたことがありますか。				92%	8%
	10 あなたは、学校の友達や先輩、後輩にいじわるをしたことはありますか。				92%	8%
	11 あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩がいじわるされているのを見たことがありますか。				100%	
	12 先生は、進路や友人関係などで、困った時、悩んだ時に話をしっかり聞いてくれましたか。	75%	17%	8%		
	13 先生は、いつも気にかけて声をかけてくれましたか。	50%	41%			9%
	14 学校の勉強や生活は、自分の将来に役立つと思いますか。	64%	27%			9%
	15 学校の勉強や生活をとおして、昨年よりできることが増えましたか。	50%	34%			16%
環境	16 教室、作業室、体育館、校庭、トイレ、プレイルームなどは使いやすかったですか。	59%	25%		8%	8%

令和6年度 島根県立隠岐養護学校 学校評価アンケート【保護者アンケート集計】

		該当する欄に○をご記入ください。					ご意見・要望等
		1	2	3 *	4 *	5	
		十分達成 できている (そう思う)	おおむね 達成でき ている (だいたい そう思う)	どちらか といえ ば達成 できて いない (検討す べき)	ほとん ど達成 できて いない (改善す べき)	わから ない	* 特に <u>3 * : どちらかといえは達成できていない (検討すべき)</u> <u>4 * : ほとんど達成できていない (改善すべき)</u> <u>に○を記入された場合は、ここにその理由をお</u> <u>書きください。</u>
小中1	・お子さんが学校生活や学習活動に意欲的に取り組んだり、楽しみにしたりしている様子が見られましたか。	59%	33%	0%	0%	8%	
小中2	・連絡帳や送迎時の話などを通して、教職員と連携をとることができましたか。	67%	33%	0%	0%	0%	
高1	・お子さんは学校生活や学習活動に目的意識や達成感をもって取り組んでいましたか。	0%	100%	0%	0%	0%	
高2	・日常生活に必要なことがらや働く力を身につけるために適切な指導、支援がなされていましたか。	13%	87%	0%	0%	0%	
高3	・現場実習は適切に実施されていましたか。	38%	50%	0%	0%	12%	
全体1	・ホームページ、Instagram、学校新聞、学級通信等により、学校の様子を知ることができましたか。	48%	42%	5%	0%	5%	
全体2	・保護者懇談の回数や日程は、適切でしたか。	53%	37%	0%	5%	5%	
全体3	・保護者懇談では、担任とお子さんの成長や課題・支援の仕方について話をすることができましたか。	64%	31%	5%	0%	0%	
全体4	・生活習慣、ルール、マナーについて適切に指導、支援が行われていましたか。	53%	37%	5%	0%	5%	
全体5	・教職員の、お子さんへの接し方は適切でしたか。	58%	32%	0%	0%	10%	
全体6	・お便りや懇談等において、進路に関する情報が適切に提供がされていましたか。	48%	42%	0%	0%	10%	
全体7	・事務室では保護者への適切な接遇がなされていましたか。	53%	42%	0%	0%	5%	
その他ご意見があればご記入ください。 ・プライベートで出会った時に挨拶をされない先生がおられます。オン／オフを分けておられるなら仕方ないです。							